

お茶会だより 7月号

矢島保育園 H29.7.28

今月からは お隣のつどい公園にある総合案内所へと場所を移してお稽古を行います。初めての場所に ほとんどの数分の行き道も うきうき、わくわくしてはいたが玄関の前につくと 静かに... 程良い緊張感の中で臨みました。

床の間

・掛け軸 「魚」

・お花 シメズキ ハンゲショウ ホタルアケボノ

・香合 水玉 ・お菓子 練り切り(七夕)



おやりぎ室とは違い、和室には敷居があります。現代の家屋にはなくなってきたり、あっても気にとめず過ぎていたり... お稽古の中で敷居を踏まないという礼儀作法を教わりました。お茶碗を運んだり、歩く場所に気を付けたり、一つ一つの所作に気を配っていると、ついつい敷居の存在を忘れてしまい、踏んでしまうこともありましたが言葉をかけながら進めることで気を付け方という意識がみられるようになりました。



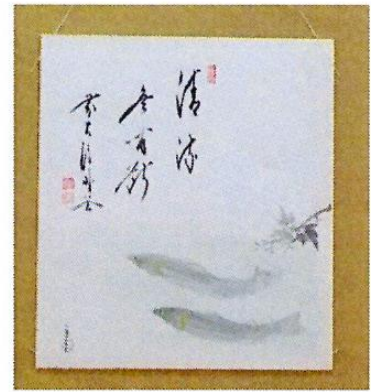
そして今月はお菓子を取る際に箸を使用するお稽古も。箸の取り方にもお作法があり、はらり予習してきた子ども達ですが お茶会の空気に緊張し手順を忘れて手が止まる場面も... 植田先生に見字られ「上手ですよ」と声をかけられると気が楽になつたように手を動かしていましたよ。

今回は初めての場所に初めての箸と覚えることも沢山あったのであつたが何事も基本があつてこそ。初心に戻って立ち居振る舞いに気を付けていきたいと思ひます。

【今月の床の間】



シマススキ
ハンゲショウ
ホタルブクロ



夏らしく清々しい鮎の掛け軸と、
ガラスで出来た“水玉”の香合



【お稽古の様子】



今月から保育園隣の“総合案内所”でのお稽古。趣ある和室の造りに、子ども達も興味津々。今月のお客様、佐々木みつ子さんと佐藤則子さんも、温かく見守ります。



お箸は右手で
上から取って、
左手に乗せて、
右手を持ち替
えて…。



天の河をイメージした練切りのお菓子の名前は“七夕”



今月から、お菓子を取る時にお箸を使い、扱い方を植田先生が丁寧に教えていただきました。



10月まで、この場所で“和”の空間を感じながらお稽古します。